

令和6年度

第1回倉吉市社会教育委員協議会

◆日時 令和6年10月23日(水) 午前10時～12時
◆場所 北谷コミュニティセンター

日 程

1 開 会

2 あいさつ

3 研 修

テーマ 「南部町社会教育委員の活動紹介～社会教育委員による幸せ探究活動～」
講 師 南部町社会教育委員 都田 沙希 さん

4 協議事項

- (1) 第3期倉吉市教育振興基本計画成果指標実績について(令和5年度終了時)
- (2) 令和6年度倉吉市教育委員会重点施策に基づく実施計画の進捗状況(中間評価)について
- (3) その他

5 報告事項

- (1) 人権教育に対する意見への対応について

- (2) 倉吉市立中学校部活動地域連携・地域移行に向けた進捗について

6 その他

7 閉 会

倉吉市社会教育委員名簿

任期：令和6年2月1日～令和8年1月31日

	氏名	所属	選出区分	
1	池田 康明	倉吉市小学校長会	学校教育の関係者	新任
2	岩垣 和久	倉吉市公民館連絡協議会	社会教育の関係者	会長
3	小椋 勝美	倉吉市スポーツ協会	社会教育の関係者	
4	眞田 廣幸	倉吉市文化財保護審議会	社会教育の関係者	
5	岸田 曜子	中部読書活動推進フォーラム 実行委員会	社会教育の関係者	
6	山下 千之	倉吉市人権教育研究会	社会教育の関係者	
7	前田 澄子	特定非営利活動法人 こども未来ネットワーク	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	
8	野儀 明彦	倉吉市中学校 PTA 連合会	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	
9	鷲見 寿久	倉吉市青少年育成協議会	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	
10	笠見 猛	倉吉市コミュニティセンター 指定管理者連絡会	学識経験のある者	
11	明里 利彦	倉吉市自治公民館連合会	学識経験のある者	
12	長岡 絵里佳	学校法人藤田学院 鳥取短期大学	学識経験のある者	副会長
13	柘田 弘子	倉吉市地域学校委員会	学識経験のある者	

教育委員会事務局・教育機関

中田 寛	教育長
石賀 大生	事務局長
向井 由香里	社会教育課長
根鈴 輝雄	博物館長
田村 美香	図書館長

関係課

田村 剛	地域づくり支援課長
菅野 美佐子	人権政策課長
岡本 智則	文化財課長

事務局(社会教育課)

井谷 真由美	課長補佐
多久和 伸昭	市民スポーツ係長

第3期倉吉市教育振興基本計画 成果指標実績（令和5年度終了時） ※社会教育関係係課等抜粋

教育目標1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり

③地域力を育む社会教育の推進

指標名							目標値 (R7)	担当課	
現状値	R3	R4	R5	R6	R7				
日頃から学習活動に取り組んでいる市民の割合								62.0%	
59%	60.9%	65.7%	66.1%						
放課後や土、日、初日または長期休業日において、児童・生徒1人あたりの体験活動への参加回数								1.7回	社会教育課
1.4回	1.0回	1.2回	1.7回						
児童・生徒1人あたりの地域活動・ボランティア活動への参加回数								1.9回	
1.6回	0.4回	0.5回	0.7回						

④コミュニティセンター（公民館）活動の推進

指標名							目標値 (R7)	担当課	
現状値	R3	R4	R5	R6	R7				
コミュニティセンター活動への1人あたりの参加回数（まつり・運動会等含む）								1.7回	
1.4回	0.5回	0.7回	1.0回						
コミュニティセンター事業運営に参画した人の数（共催・連携事業含む）								3,850人	社会教育課
3,669人	1,058人	1,520人	2,626人						
地域のまちづくりに意見を反映させたり、活動に参加したいと思う市民の割合								50.0%	
48%	30.9%	33.1%	29.6%						

成果指標の分析

年々割合が増加しており、R4年度にはすでに目標値を上回っている状況であるが、さらにR5年度も前年度の数値を0.4ポイント上回る結果となった。コロナ禍以降個人学習が進んでいると思われる。対面による学習機会を重視して増やしていく。

コロナの影響によりR3年度に大きく落ち込んだから少しずつ増加傾向で推移し、R5年度は前年度から0.5回増加し、目標値を達成することができた。放課後子ども教室や各地区コミュニティセンターの青少年を対象とした事業において、体験活動の機会が増加したものと思われる。今後も体験活動の事業量を維持しながら、事業内容及び実施方法、合わせて周知方法を工夫し参加者を増やしていく。

コロナの影響によりR3年度に大きく落ち込んだまま横ばいの状況であり、R5年度は前年度より0.2回増加するも目標値にはほど遠い状況となっている。単なる参加者は地域活動の量が増加していることにより増えているが、ボランティアとしての参加はあまり増えていない。次世代の地域の担い手を育成するために、青少年の頃からボランティア活動の機会と活躍する場を意図的につくり出していく必要がある。

成果指標の分析

コロナの影響によりR3年度に大きく落ち込んだ後、少しずつ回復傾向ではあるが、R5年度は前年度より0.3回増加するもコロナ禍前の水準にも回復しておらず、目標値には遠い状況となっている。コロナ禍より事業量は増加していると思われる。事業量を維持しながら、事業内容及び実施方法、合わせて周知方法を工夫し参加促進を図る。

前年度より数値は増加したが、コロナ禍前の水準には回復しておらず、目標値にもほど遠い状況となっている。事業に参加はしても事業の企画段階から関わったり運営に参画しようとする住民は少ない。コミュニティセンターでの企画運営における地域住民を巻き込んでいく仕掛けづくり、創意工夫が必要である。

前年度より数値が下がりがり、大きく数値が落ち込んだR3年度の数値よりさらに低い結果となった。現状値からも大きく後退してしまっている。今後、意識的に人と人とのつながりをつくることのできる実施方法や内容を工夫し、地域づくりへの意欲を喚起していく事業展開が必要である。

⑤ 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館

現状値		指標名					成果指標の分析		担当課
現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)			
倉吉博物館年間利用者数 (特別展・企画展以外)	11,392人	9,461人 1ヶ月間 工事休館	3,260人 9/20~2/28 工事休館	3,720人 5/9~9/8 10/16~11/4 工事・展示 入替休館			13,670人	R3年度からR5年度にかけて博物館開館50周年 (R6年度) に向けて計画的に施設改修に取り組み、工事による臨時休館のため常設展の期間が短く、結果として利用者数が目標数値に対して大幅減となっている。目標達成に向けては、白壁土蔵群の観光客やR7.3オーブンの県立美術館来館者などの回遊のしかけ、小中学校など教育機関への呼びかけ、また博物館が主催する講演会・講座や、自然ウォッチングなどの参加者を来館につなげていけるよう工夫する。	博物館

⑥ 豊かな心を育む図書館

現状値		指標名					成果指標の分析		担当課
現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)			
図書館1人あたり来館回数	5.2回	4.0回	3.9回	4.2回		6.0回	目標値は、現状値に対して来館者数115%、個人貸出冊数114%と設定している。コロナの影響により、来館者数、個人貸出冊数とも落ち込んでいたところ、令和5年度の現状値比は、来館者数80.8%、個人貸出冊数96.9%となっており、来館者数は減少しているが、貸出冊数はほぼ現状値となっており、来館回数を控える傾向が伺える。来館者数、個人貸出冊数とも、目標値にはほど遠い状況である。 引き続き、知的欲求に応える資料の収集、魅力ある展示やイベント等の実施により、更なる来館者及び貸出冊数の増加を図る必要がある。		図書館
図書館1人あたり個人貸出冊数	6.4冊	6.0冊	5.7冊	6.2冊		7.3冊			
山上博良短歌賞応募数	4,250人	4,249人	4,635人	4,732人		5,000人	全国47都道府県から応募があるなど、目標達成に向けて着実に応募者数は伸びてきている。引き続き、県内学校への呼びかけや関係機関との連携、揮毫展の継続など新たな応募者の増加に向け、更なる広報を行う必要がある。		
倉吉交流プラザ利用者数	25,505人	11,614人	15,944人	20,567人		27,000人	コロナの影響により落ち込んでいた利用率は、令和5年度に目標値を達成した。利用者数については、施設利用者により催されるイベント等に左右されるため、目標値達成に向けての対策を立てにくい。交流プラザが利用率を維持するよう、次も利用したいと思っていただけたサービスの提供、新たな利用者増に向けた広報を行う必要がある。		
倉吉交流プラザ利用率	63%	43%	51%	65%		65.0%			
複合遊具施設事故件数	0件	0件	0件	0件		0件	遊具定期点検に基づき必要な修繕を行うとともに、職員による日常点検、警備員による毎週土日祝日及び夏休み期間の巡回により、引き続き事故を防止する必要がある。また、老朽化した遊具の更新についても検討を行う必要がある。		

教育目標 4 たくましく健やかな心と体づくりの推進

⑱ 体育・スポーツの振興

指標名						
現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合						
47.7%	48.2%	47.5%	47.0%			53.0%

成果指標の分析

昨年度から0.5ポイント減少となった。しかし、その内訳を見ると、ほぼ毎日や週に1回程度といった頻回に行っている割合は1.1ポイント昨年度より上回っている。一方で月に数回の割合は1.6ポイント減少しており、普段あまり運動をしない市民の割合が増えていると思われる。ウォーキングやニュースポーツなど気軽に始められるスポーツを推進する必要がある。

担当課
社会教育課

教育目標 5 文化資源の保存活用と文化・芸術の振興

⑲ 倉吉に誇りと愛着を持つ子どもへの育成

指標名						
現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
児童・生徒1人あたりの地域活動・ボランティア活動への参加回数						
1.6回	0.4回	0.5回	0.7回			1.9回
博物館を利用した小中学校や児童クラブなどの団体数及び人数						
団体数	16団体	17団体	11団体			20団体
人数	611人	365人	251人			740人

成果指標の分析

コロナの影響によりR3年度に大きく落ち込んだまま横ばいの状況であり、R5年度は前年度より0.2回増加するも目標値にはほど遠い状況となっている。単なる参加者は地域活動の量が増加していることにより増えているが、ボランティアとしての参加はあまり増えていない。次世代の地域の担い手を育成するためにも、青少年の頃からボランティア活動の機会と活躍する場を意図的につくり出していく必要がある。

R5年は、春季の「ヨシタケジンスケ展」開催時は保育園など未就学児をはじめとして団体利用も好調だったが、その後の長期の工事や展示入替による休館で、例年開催している自然科学展の開催がなく、考古や民俗の常設展示期間も短かったため、小学生等の校外学習の利用が少なく、年間の団体利用数も減少した。R7の目標達成に向け、市内教育機関との連携や各種団体向けのPRが必要。

担当課
社会教育課
博物館

⑳ 文化財の保存、活用、伝承

指標名						
現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
調査・研究が行われ保護措置がとられた文化財の数						
17件	17件	20件	16件			20件
指定文化財の保存修理・活用・公開などの相談件数						
15件	20件	18件	21件			20件
普及啓発事業の数						
21件	24件	36件	23件			25件

成果指標の分析

指定を見据えた未指定文化財の調査・研究を積極的に推進し、保護措置を図る必要がある。

目標は達成しているが、引き続き文化財所有者のよきパートナーとして、コミュニケーションを密にしなが、適切な保存・活用を促進することが必要。

目標達成に向け実施件数は伸びているが、各事業により多くの参加者を得るために、市民に対しての啓発事業の発信・周知方法に工夫することが必要。

担当課
文化財課

⑤「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館 【再掲】

現状値		指標名					成果指標の分析	担当課	
倉吉博物館年間利用者数(特別展・企画展以外)		R3	R4	R5	R6	R7			目標値(R7)
11,392人	9,461人 1ヶ月間工事 休館	3,260人 9/20~2/28 工事休館	3,720人 5/9~9/8 10/16~11/4 工事・展示 入替休館				13,670人	R3年度からR5年度にかけて博物館開館50周年(R6年度)に向けて計画的に施設改修に取り組んでおり、工事による臨時休館のため常設展の期間が短く、結果として利用者数が目標数値に対して大幅減となっている。目標達成に向けては、白壁土蔵群の観光客やR7.3オープン時の県立美術館来館者などの回遊のしかけ、小中学校など教育機関への呼びかけ、また博物館が主催する講演会・講座や、自然ウォッチングなどの参加者を来館につなげていけるよう工夫する。	博物館

令和6年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施計画の進捗状況(中間評価)

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
Ⅰ 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	③ 地域力を育む 社会教育の推進	1 生涯にわたる学びの保障、機会の提供と環境整備	社会教育課			*鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座の開催 ・第1回公開講座(21日)・第2回公開講座(5日) ・第3回公開講座(18日)		・第4回公開講座(22日)	・第5回公開講座(5日)	
		2 将来の地域や社会を担う青少年の育成と活動の場づくり	社会教育課	*放課後子ども教室の実施 (子どもいきいきプラン事業等) ・放課後子ども教室事業 第1回運営委員会(9日) *子ども会活動の支援 *実行委員会によるはたちのつどいの開催 ・実行委員募集		・子ども会指導者・育成者研修会 研修会(29日)		・第1回実行委員会 (役員決定・テーマ検討) (22日)	・第2回実行委員会 (企画準備) (29日)	
	④ コミュニティセンター(公民館)活動の推進	1 人づくり、地域づくりにつながる機能強化	社会教育課 (地域づくり支援)	*重点取組事業の実施(13地区)					・主事研修会(22日)	
	⑤ 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館	1 開館50周年記念展の開催とテーマ性のある展示創出	博物館	・匠たちのTSUBAKI・椿・つばき展(～5/6)		・倉吉市美術展覧会 (前期:6/9～18) (後期:6/23～7/2)		・TMN共同企画展 (7/27～8/25)	・開館50周年記念特別展 「大御堂庵寺展」 (9/1～10/14) ・美術所蔵品展① 「花咲く風景」	
					・県立美術館連携事業協議		・夏休み自然科学展 (8/3～25)			
2 美術賞(菅橋彦大賞)の開催準備		博物館	・作家選考会日程調整 ・審査委員補充		・作家選考会(東京)		・指名作家へ創作依頼			
3 教育普及活動の充実と調査研究活動の推進	博物館	・倉吉絆指定調査準備		・博物館講座① ・自然W①星座を見よう(5/2) ・自然W②昆虫を見よう(5/11) ・自然W③初夏の植物をみよう(5/25) 調査協力団体への説明	・博物館講座② 調査事業開始	・博物館講座③ ・自然W④おさなな教室 (7/20)	・博物館講座④ ・自然W⑤天体 月・星座を見よう(8/11)	・自然W⑥初秋の植物を見よう (9/1) ・自然W⑦秋の昆虫を見よう (9/29)		

中間評価	取り組み計画					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回生涯学習講座(12日) ・第3回生涯学習講座(12日) ・第4回生涯学習講座(26日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回生涯学習講座(2日) ・第4回生涯学習講座(4日) ・第5回生涯学習講座(23日) 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室事業 ・第2回運営委員会(29日) ・第3回実行委員会(26日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会リーダー研修会 ・第4回実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部ハイスクールフォーラム2024(14日) ・第5回実行委員会(事前リハーサル) 	<ul style="list-style-type: none"> ・はたちのつどい開催(3日) 		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会リーダー研修会 ・育成者研修会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ねりんピック(書道・写真・彫刻)10/19~22 ・県立美術館連携事業協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県美術展覧会(前期:11/1~6)(後期:11/10~15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校美術展(12/11~15) ・ジュニア県展(12/19~1/5) ・美術所蔵品展② 		<ul style="list-style-type: none"> ・美術所蔵品展③ ・県立美術館連携事業協議 	
					<ul style="list-style-type: none"> ・指名作家の創作進捗確認 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座⑤ ・自然W⑧天体 土星・星座を見よう(10/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座⑥ ・自然W⑨打吹山の植物(11/2) ・自然W⑩天神川のサケ(11/10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座⑧ ・自然W⑪国府川の水鳥(1/13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座⑨ 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座⑩

